

令和4年度の事業の進め方について

1. やまがた街なか出店サポートセンター事業

以下の取り組みを実施し、空き店舗の解消による中心市街地の魅力向上を図る。

(1) 新規出店希望者の支援及び出店後のフォローアップ

〈主な取り組み〉

- ・ 空き店舗・空き事務所の情報収集
- ・ 新規出店希望者への情報提供及び相談
- ・ 各種支援制度の紹介・事業計画作成支援
- ・ 中心市街地エリア内の業種毎の収益状況調査・分析
- ・ 出店しやすい家賃設定に向けた交渉
- ・ 出店者に対するフォローアップ
- ・ 中心市街地エリア内の既存店舗に対する後継者・事業承継状況調査

(2) テナントリーシング実施に向けた人材育成

〈主な取り組み〉

- ・ 出店意向のある企業に対する積極的な情報提供による関係性の構築
- ・ 県内企業かつ多店舗展開している企業に対する関係性の構築
- ・ 出店意向がない企業の中でも、山形市へ誘致したい企業との関係性の構築
- ・ 外部専門家からの指導によるテナントリーシング実施に向けた人材育成
- ・ テナントリーシングに対する関係団体（不動産事業者、金融機関、商店街、商業施設）との情報交換
- ・ 販売代行業者、什器レンタル事業者との関係性の構築

2. 街なか情報発信事業

近年、インスタグラムを活用し欲しいもの等を探す・調べるといった行動が目立つようになってきたため、インスタグラムを軸として情報発信の強化を図る。

また、既存のサイトは街なかの情報収集をする際に有益な情報が得られるツールとなるよう情報量を充実していく。

- (1) 店舗の商品や料理、街なかのイベント等のトピックスの積極的な投稿
- (2) 定期的なハッシュタグ企画の実施
- (3) インスタグラムを活用したフォトコンテスト等のイベントの開催
- (4) フェイスブックとの連携による幅広い年齢層への情報発信

3. すずらん商店街における老朽建物の整備改善事業

すずらん商店街の地権者や街区周辺の地権者に対する意向調査の結果を基に、再整備等の検討を行える可能性のある街区毎に検討を進めていく。

また、定期的な勉強会を実施し、地権者の再整備への意欲を醸成しつつ、再整備の実現性の高い街区をモデル街区に設定し、事業計画や事業試算等を示しながら進めていく。

4. かすみ公園周辺エリアにおける新たなまちづくり事業

改めて地権者の意向を確認し、事業化が進展するよう関係団体との調整を図る。

5. 新たな決済サービスの展開と地域電子マネー・地域ポイントの推進

今年度実施しているキャッシュレス決済端末モデル事業の結果を収集し、整理を行った上で、駐車場でキャッシュレス決済の導入等、導入側、利用者側双方に利便性を感じられるキャッシュレス環境を構築できるよう検討を行う。

6. 山形エリアマネジメント協議会と連携する法人の検討

今後、ハード系の事業の推進に合わせ、事業全体の進捗状況や推進するための手法を念頭に置きながら、法人の在り方について検討を進める。

7. その他

旧大沼周辺の再開発に向けたサウンディング型市場調査の状況について

日 程	内 容
令和3年7月12日	サウンディング型市場調査実施の公表
令和3年7月12日～8月2日	説明会・現地見学会の参加受付
令和3年8月17日～8月20日	説明会・現地見学会の開催 ・参加申込数 36社（県内7社、県外29社） ・各日2回（午前、午後）開催
令和3年8月20日～9月2日	質問の受付
令和3年9月6日～9月10日	質問への回答
令和3年8月23日～10月1日	対話への参加申込期間
令和3年10月22日～12月17日	対話の実施
令和4年2月末（予定）	実施結果の公表（申請件数、対話数等の概要）